

会 議 録

1 会議名

- ・令和4年度第6回清里区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1) 協議事項（公開）

- ・自主的審議事項について

2) その他（公開）

- ・新市建設計画について・

3 開催日時

- ・令和4年8月25日（木）午後3時から午後4時50分まで

4 開催場所

- ・清里区総合事務所 第3会議室

5 傍聴人の数

- ・ 2 人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：古澤文夫（会長）、山川正平（副会長）、笹川重作、佐々木勝峰、羽深正、保坂幸男、松永誠一、向橋マチ子、横山芳一
- ・事務局：清里区総合事務所：佐藤所長、西山市民生活・福祉グループ長（併教育・文化グループ長）、竹下班長、田村主査

8 発言の内容（要旨）

【田村主査】

- ・会議の開会を宣言
- ・桑原正史委員、竹田恵理子委員、堀川敏子委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告する。

【古澤文夫会長】

- ・挨拶

【佐藤所長】

- ・挨拶

【古澤文夫会長】

会議録の確認を向橋マチ子委員にお願いする。

次第4「報告事項」に入る。

8月22日に地域協議会会長会議があり「（仮称）地域独自の予算」の概要（案）について説明があった。内容について、同席していた所長から報告をしてもらう。

【佐藤所長】

- ・資料1により報告する。

補足説明があれば、会長からお願いしたい。

【古澤文夫会長】

他の会長からは、これまでの地域活動支援事業と比べてハードルが高すぎるとの意見があったが、市長からは今年度に間に合わないのであれば、時間をかけてしっかりと考えてほしいと言われた。一生懸命取り組む団体には予算をつけるということなので、これからは地域協議会や総合事務所の考え方が重要視されていくと思う。

皆さんから質問はあるか。

【保坂幸男委員】

資料1の3ページの中で、「（仮称）地域独自の予算」でつくり上げる予算のイメージ図の中で、提案団体は地域協議会と地域の団体と総合事務所となっているが、各団体が提案する事業に優先される事業はあるのか。

【佐藤所長】

優先される事業はないと思うが、事業には熟度があると思うので、それに関しては順番が出てくると思う。

【保坂幸男委員】

地域活動支援事業がなくなり、今後の提案事業は地域協議会が検討し、取りまとめた事業だと思っていたが、地域の団体も提案することができるのであれば、そもそも地域協議会が特定の団体について意見書を提出することはどうなのか。坊ヶ池周辺の活性化に取り組む団体以外の団体がどのように思うのかということを見ると、令和5年度は何もしないということも、一つの考えではないか。

その辺の考え方がよくわからないのだが、市としてはどの様に考えているのか。

【佐藤所長】

何もしないとはどのような意味か。

【保坂幸男委員】

意見書を提出することで、特定の団体が有利となるのであれば、平等性を保つという意味で意見書を提出しないということである。

【佐藤所長】

坊ヶ池周辺の取組が、他の団体の取組と比べて熟度が一步進んでいると考えられないか。ほかの団体の取組にも意見書を提出するというのであれば、自主的審議事項として審議すればよいと思う。

坊ヶ池周辺の取組についてはこれまで地域協議会で検討し、委員の皆さんの総意で自主的審議事項として取り組み始めた以上、他の団体の取組と比べて熟度が一步進んでいると思う。

平等性を考えて意見書を出さないという意見について、協議会の皆さんの総意がどうなるかだと思う。

【保坂幸男委員】

「地域活動支援事業」では採択者は地域協議会であり、予算については各区に振り分けられた事業費の中で動いていたが、「地域独自の予算」では採択者は市であり、予算に上限がない上に、各団体が提案できるので地域協議会が関わることが今後非常に少なくなり、その部分での地域協議会の位置づけがよくわからない。

【佐藤所長】

地域協議会を通さなくても地域の団体が直接提案できるという点では、地域協議会の役割はなくなっていると思うが、地域の団体の動きは随時地域協議会へ情報提供するなど配慮していきたい。

【保坂幸男委員】

非常に難しいが、地域協議会で各区における総合計画的なものを策定して、その中で必要な地域独自予算を組んでほしいというのであればわかる。ただ令和5年度については時間をかけられないので、地域協議会で検討した事業とか地域の団体の事業も採択するというような段階的な取組であれば理解できるが、地域協議会が特定な場所の活性化などに対して意見書を出すということが分からない

【佐藤所長】

地域全体の活性化に関しては、4月以降、地域活性化の方向性について、地域協議会委員の皆さんに説明し、自主的審議事項と並行してこれまでの皆さんの意見を参考として、事務所で案を作って検討していくという方向になっているので、自主的審議と同じタイミング、同じ流れで作っていくことになると思う。

【保坂幸男委員】

方向性を出して順次進んでいくという説明が、地域独自の予算の中であれば良いのだがそれがないので、市の方向性がよく見えない。

【佐藤所長】

地域活性化の方向性は、総合計画ほど細かいものではないかもしれないが、皆さんのご意見を伺いながらこれから作成する予定である。地域活性化の方向性がなければ地域独自の予算が作れないということは、考えていない

【古澤文夫会長】

保坂委員から提案団体が地域協議会であろうと地域の団体であろうと総合事務所であろうとみんな同じではないかという話があったが、私は地域協議会で自主的審議として検討して予算要求した提案が一番強く、予算査定も優先的にしてくれるだろうと思っている。でなければ協議会で意見書を提出する意味はない。

【笹川重作委員】

地域の団体が提案するのと地域協議会が意見書で提案するのとでは違いはあるのか。

【佐藤所長】

予算化できる出来ないということになれば違いはない。ただ、地域の団体の皆さんがどこまで細かく考えているか、自分達の取組の利益だけを考えて提案するということになればなかなか難しいと思う

【保坂幸男委員】

地域活動支援事業がなくなるということは早々に言って、地域の団体も提案できるということは8月初めに日報に出ていたが、地域協議会への説明は全然してこなかった。

【佐藤所長】

地域独自の予算はまだ決まったわけではない。

【保坂幸男委員】

地域協議会で意見をまとめて意見書としてあげるということ自体が分からない。必要

性はあるのか。

【佐藤所長】

地域独自の予算がまだ案という段階で、これから議会の皆さんと話をしたり、会長会議の意見を伺って固めていくもので、まだ、市民の皆さんにこれと示す前である。地域協議会としては自主的審議としてまとめていくことなる。

【保坂幸男委員】

それが余計不公平になるのではないか。地域協議会で検討しまとめることは大切だと思うが、地域活動支援事業では買い物支援とか行っている団体もあり、それも必要だと思うている。

そこについては、単独の団体での提案ということになると思うが、公平性が保たれていないのではないかと考えている。

【佐藤所長】

そのような団体の皆さんに地域独自の予算について公表することは少し遅くなるかもしれないが、もし団体から提案したいという話があり、令和5年度予算に間に合うタイミングであれば総合事務所としては協力して取り組んでいく。

【古澤文夫会長】

会長会議では、地域独自の予算よりもまず地域のビジョンが必要ではないか、そちらの方が先ではないかといった意見もあった。まだ地域独自の予算が決まったわけではなく、今後、変更になるかもしれないが、現時点では、9月あるいは10月には予算要求をしなければならないということなので、スケジュールに沿って我々も準備していかなければならないと思う。

【山川正平副会長】

長期的なビジョンに基づいて予算要求をしていくのが本当だと思うが、とりあえず、前回坊ヶ池周辺の活性化に取り組んでいる団体の皆さんと意見交換し、地域活動支援事業がなくなり支援がなくなると次年度以降の活動ができなくなるので、地域協議会として上越市に意見書を提出してもらえないかと要望があった。

少なくとも星のふるさと館やビュー京ヶ岳は地域活動支援事業で300万円ほど補助を受け、何とか活動している状態なので、何とかそこに絞り込んで来年度予算を確保できないかということで話し合っている。

保坂委員が言うように確かに社会福祉も必要だが、社会福祉協議会は別の補助金や予

算で動いているし、意見書として上げたとしてもハードルが高い気がする。

そういう経緯もあって、来年度も坊ヶ池周辺の活動がこれまで通り継続されるように、自主的審議事項として検討してきた経緯がある。

【古澤文夫会長】

他によろしいか。先に進んで良いか。

(委員了承)

【古澤文夫会長】

次に次第5「諮問事項」諮問第63号 新市建設計画の変更について、事務局に説明を求める。

【佐藤所長】

・資料2により説明する。

【古澤文夫会長】

今の説明について、皆さんから質問等はあるか。

(質問等なし)

【古澤文夫会長】

質問等がないようなので、この件について皆さんの賛否を聞きたいと思う。

諮問第63号 新市建設計画の変更について、諮問の内容を適当と認めることとしてよいか。よいと思う方は挙手をお願いします。

(出席委員全員)

【古澤文夫会長】

賛成多数なので、諮問第63号 新市建設計画の変更については適当と認めることとする。附帯意見なしとして答申することとしてよいか。

(異議なし)

【古澤会長】

それでは、答申書(案)について、これから読み上げるので確認していただきたい。

新市建設計画の変更について(答申)、令和4年8月9日付け、上企第29045-26号で諮問のあった新市建設計画の変更について、地域住民の生活に支障はないものと認めます。

これで答申したいと思うがよろしいか。

(異議なし)

【古澤文夫会長】

ここで休憩時間をとる。再開は4時10分からとする。

《休憩》

【古澤文夫会長】

再開する。

次に、次第6「自主的審議事項」に移る。

皆さんには、事前に意見書の作成に向け坊ヶ池周辺の活性化の取組について、課題は何か、課題の解決策をどう考えるなどについて、自分の考えをまとめてきていただいた。

保坂委員の方から一人ひとり意見を伺いたいと思う。

【保坂幸男委員】

中山間地域の活性化、少子高齢化など山の方は元気がないという中で、清里区の拠点施設はどこかと考えた時に坊ヶ池周辺となる。ビュー京ヶ岳は集客施設という点でも清豆タルトや押し寿司など地域の農産物を使った地産地消という点でも大切な施設だと思うし、同じく集客施設としては星のふるさと館の活用も大切だと思う。その他に坊ヶ池周辺の遊歩道の整備を考えても、休憩できる憩いの場があれば人も来ると思うし、そういうことを考えるとやっぱり拠点となるビュー京ヶ岳という建物が必要だと思う。

櫛池農業振興会はビュー京ヶ岳を活用して坊ヶ池周辺の活性化に取り組んでおり、今後も活動を継続するためにも地域活動支援事業に代わる支援を求めており、私も支援は必要だと思う。

ただ、櫛池農業振興会と星のふるさと館の連携という点では両者に温度差を感じたので、検討する必要がある。

【松永誠一委員】

8月4日の意見交換会で各団体の話を聞いて、団体に取り組んでいる活動の必要性について十分理解できた。

課題として考えられることは、地域活動支援事業がなくなることによって事業費の獲得が困難になったことである。地域活動支援事業に代わる地域独自の予算の活用についての説明はあったが、制約があったり提案力が乏しい団体では今後、活動費用の確保が非常に困難になることが懸念され、それにより活動できなくなるということを招かないようにしなければならない。

その為に、地域協議会が地域独自の予算という制度にどのように取り組めば必要な予

算を確保できるのか、そこに知恵を絞らなければならない。一つの解決策の案として、各団体が自分達の計画に限った立案や展開を考えるのではなく、複数の団体と連携して全体で大きな事業計画を考え、その中に各団体の活動計画の骨子を盛り込むといった発想で考えてはどうかと考えている。

【向橋マチ子委員】

坊ヶ池周辺を活性化させるためには、清里区以外の人から訪れてもらうことが大切だと思う。土日、祝日はビュー京ヶ岳のカフェがあるので良いが、平日は野外で過ごすことになるので、ベンチ等の整備や草刈りなどが必要である。また、初めて訪れる人が安心して利用できるように、青柳からの案内看板が必要だと思っている。

清里観光交流協会にリーダーシップをとってもらい、ボランティアを募集し木の伐採などをしてもらったらよいと思う。また、星のふるさと館のトイレが狭く不便なので利用しやすくしてもらいたい。

【横山芳一委員】

課題としては、清里区の活性化である。活性化を検討するのは坊ヶ池周辺だけでよいのか、他の事業についても考える必要があるのではないかと思う。また、坊ヶ池周辺を活性化させるためには、坊ヶ池周辺の整備や京ヶ岳など施設の維持費が必要だと思う。その為になどのような解決策が考えられるかということ、坊ヶ池、ビュー京ヶ岳と星のふるさと館のPRと施設の案内看板の設置だと思う。

【羽深正委員】

清里区の活性化を考えるにあたってメインは坊ヶ池であるが、そこだけでよいのかとも思っている。今回は坊ヶ池周辺の活性化の取組ということで考えると、ただ、人に来てもらうことが良いことなのか、今のまま静かな環境でも良いのではないかとも思う。現状維持か案内看板の設置くらいでよいのではないかと思う。

【佐々木勝峰委員】

現在、坊ヶ池周辺で活動している3団体を一つにまとめ、事業計画案を練って市へ提案することが大切であり、地域協議会としては、団体の皆さんに集まってもらい、話し合いをしながら一つの事業として市へ要望していった方がよいと思う。お金がかかるので、そのようにやっていると草刈りや看板など整備ができなくなると思う。ボランティアと言ってもいつまでできるかわからないし、若い人にも協力してもらいながら維持していく方法を検討していけばよいと思う。

【笹川重作委員】

坊ヶ池は清里区の唯一の観光地であり、ビュー京ヶ岳と星のふるさと館はお互いに連携することによって、利用者数を増加させるなどの相乗効果をあげているので、坊ヶ池周辺を活性化するために、星のふるさと館のイベントとビュー京ヶ岳の存続を意見書としてお願いしたいと思う。あわせて、坊ヶ池周辺の散策コースの整備やキャンプ場やトイレの整備をお願いしたいと思う。

【山川正平副会長】

清里区では観光の核としてビュー京ヶ岳と星のふるさと館があり、中山間地域を守るために坊ヶ池は農業用水として大切に使用されている。坊ヶ池周辺では3つの団体が活動しており、清里観光交流協会は交流イベントの開催や清里ガイドマップの作成などを手掛けており、ビュー京ヶ岳運営協議会は令和3年から櫛池農業振興会が中心となり活動しており、ビュー京ヶ岳にカフェを開き、中山間地域の地産地消や農業後継者の育成に貢献している。また、星のふるさと館は、県内最大の天体望遠鏡を有し、天体教育施設として利用されており、夏にはスターフェスティバルを開催し利用者も増えている。

これらの団体と意見交換をした結果、地域活動支援事業や補助金、基金などを利用しながら各施設の運営に努力しているが、各団体とも限られた予算の中で活動しており、地域活動支援事業がなくなると活動自体が困難であるので、今後清里区の活性化、清里区の地域の宝を維持していただくためにも上越市に特段の配慮をお願いしたい。

【古澤文夫会長】

ありがとうございました。皆さんから意見発表してもらったが、意見等はあるか。

ないようなので、事務局で整理したものを次回の協議会で示したいと思うがよいか。

(異議なし)

【古澤文夫会長】

次に、次第7「その他」①令和4年度清里区地域協議会委員視察研修について、10月20日(木)に実施する予定だったが、現在コロナの感染者が非常に増加しており、また視察先の受け入れも困難であると考えられるので、山川副会長と相談して今年度の研修は中止ということにしたいがよろしいか。

(委員了承)

【古澤文夫会長】

では、今年度の視察研修は中止とする。

次に、令和4年度第7回清里区地域協議会の開催について、9月15日（木）午後3時からこの会場で開催したいと思うが皆さんよろしいか。

（委員了承）

【古澤文夫会長】

そのほか、何かあるか。

【田村主査】

・令和3年度地域活動支援事業事例集について説明する。

【古澤文夫会長】

そのほか、何かあるか。

ないようなので、以上をもって第6回地域協議会を終了する。

最後に山川副会長から、閉会の挨拶を願う。

【山川正平副会長】

・閉会の挨拶

9 問合せ先

・清里区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-528-3111(内線225)

E-mail : kiyosato-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

・別添の会議資料も併せてご覧ください。